

平成28年度
事業報告書

社会福祉法人

鹿沼市社会福祉協議会

目次

I 適正な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立
 - (1) 会議等の開催 1
 - (2) 会員制度の勸奨 3
 - (3) 事務の効率化 3
2. 効率的で適正な施設管理・運営
 - (1) 総合福祉センターの管理運営 3

II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化
 - (1) 社協だよりの発行 5
 - (2) 第43回鹿沼市社会福祉大会の開催 5
 - (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞 6
 - (4) 米寿記念品の贈呈 6
 - (5) 啓発物品の配布等 6
2. 関連団体等の育成と連携
 - (1) 福祉団体等の主体的な活動促進 7
 - (2) 民生委員児童委員等との連携 7
3. 支援を要する世帯等への支援
 - (1) 生活福祉資金貸付実績 8
 - (2) 社会福祉金庫貸付実績 8
 - (3) 災害等見舞金支給実績 8
 - (4) フードバンクによる支援 8
 - (5) 成年後見制度普及啓発等事業 9
 - (6) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進 9
 - (7) コーヒーサロン 9
 - (8) 生活困窮者自立支援事業 10

III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進
 - (1) 第二期地域福祉活動計画の推進 11
 - (2) 地域の主体的な活動促進 11
 - (3) 地区社協間の連携と 12
2. 安心生活創造事業の受託 12

IV ふれあいのまちづくり

1. ボランティアの発掘と育成
 - (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり 13
 - (2) ボランティア講座の開催と活動促進 14
 - (3) ボランティア団体等への支援 14
 - (4) 福祉機材の貸出 16
 - (5) 善意銀行の運営 17

2. ふれあいの心の育成	
(1) 福祉啓発標語・ポスターの募集	17
(2) 各種相談・連絡研修	17
V 災害対策事業	
1. 熊本地震への対応について	18
2. 災害ボランティア講座の開催	18
3. 視察の受入について	19
4. 講師派遣について	19
5. 鹿沼市災害ボランティアセンター検証委員会の開催	19
6. 研修等への参加	20
7. 他機関との連携について	21
8. 被災地支援のためのワゴン車貸出し	21
9. その他	21
VI 介護と自立支援	
1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）	22
(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）	22
(3) 通所介護事業（デイサービス）	23
(4) 訪問入浴介護事業	23
2. 在宅介護支援センターの運営	23
3. 障害福祉サービス事業の推進	
(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）	24
(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業	24
(3) 訪問入浴サービス事業	24
VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営	25
VIII 障害者支援施設「やまびこ荘」の運営	27
IX 高齢者福祉センターの運営	29

<参考資料> 30

1. 会費（年度別状況）
2. 総合福祉センターの利用状況
3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県大会）
4. 関連ボランティア
5. 共同募金の状況
6. シニアライフみまもり隊月別活動状況
7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
8. 障がいサービスの提供状況
9. 高齢者福祉センター利用者状況

I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

1. 法人運営の確立

(1) 会議等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
5月24日	理事会(第184回)	12名	(1)平成27年度事業報告の認定について (2)平成27年度一般会計収支決算の認定について (3)評議員の選任について (4)評議員の選任について (5)評議員の選任について
5月26日	評議員会(第164回)	21名	(1)平成27年度事業報告の承認について (2)平成27年度一般会計収支決算の承認について
9月27日	臨時理事会(第185回)	11名	(1)平成28年度第1次補正予算の専決処分について (2)社会福祉法人制度改革に向けた体制整備について (3)平成28年度第2次補正予算について (4)鹿沼市総合福祉センター屋根等修繕工事について (5)国立大学法人宇都宮大学との包括連携協定書の締結について
9月28日	臨時評議員会(第165回)	20名	(1)平成28年度第1次補正予算の専決処分について (2)社会福祉法人制度改革に向けた体制整備について (3)平成28年度第2次補正予算について (4)鹿沼市総合福祉センター屋根等修繕工事について (5)国立大学法人宇都宮大学との包括連携協定書の締結について
11月24日	理事会(第186回)	11名	(1)事務専決規程別表の一部改正の専決処分について (2)知識経験者の推薦について、(3)知識経験者の推薦について、 (4)知識経験者の推薦について、(5)知識経験者の推薦について (6)評議員の選任について
11月25日	評議員会(第166回)	18名	(1)事務専決規程別表の一部改正の専決処分について (2)理事の選任について、(3)監事の選任について
12月1日	理事会(第187回)	10名	(1)会長の選任について (2)副会長の選任について
12月21日	理事会(第188回)	11名	(1)平成28年度第3次補正予算について、(2)定款の全部変更について、 (3)定款施行細則の一部改正について、(4)評議員選任・解任委員会運営細則の制定について、(5)職員給与規程の一部改正について
12月22日	評議員会(第167回)	16名	(1)平成28年度第3次補正予算について、(2)定款の全部変更について、 (3)定款施行細則の一部改正について、(4)評議員選任・解任委員会運営細則の制定について、(5)理事の選任について、(6)職員給与規程の一部改正について
2月22日	臨時理事会(第189回)	11名	(1)平成28年度第4次補正予算について、(2)評議員候補者の選出について～(16)評議員候補者の選出について、(17)評議員選任・解任委員の選出について～(20)評議員選任・解任委員の選出について、 (21)評議員選任・解任委員会の開催について
2月22日	臨時評議員会(第168回)	21名	(1)評議員候補者について、(2)評議員選任・解任委員の選任について、 (3)評議員選任・解任委員会の開催について、(4)平成28年度第4次補正予算について
3月24日	理事会(第190回)	13名	(1)指定通所介護事業運営規程の一部改正の専決処分について (2)平成29年度事業計画について (3)平成29年度当初予算について (4)会員規程の一部改正について

I. 適切な法人運営と施設管理

			(5) 経理規程の一部改正について (6) 役員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について (7) 社会福祉振興基金設置要綱の一部改正について (8) 社会福祉振興基金運営委員会設置要綱の制定について (9) 職員就業規程の一部改正について (10) 職員給与規程の一部改正について (11) 職員の初任給、昇格等の基準に関する規程の一部改正について (12) 職員旅費規程の一部改正について (13) 評議員の選任について (14) 監事の辞任について (15) 理事の辞任について (16) 鹿沼市千寿荘施設長の選任について (17) 鹿沼市やまびこ荘施設長の選任について (18) 鹿沼市高齢者福祉センター施設長の選任について
3月27日	評議員会(第169回)	21名	(1) 指定通所介護事業運営規程の一部改正の専決処分について (2) 平成29年度事業計画について (3) 平成29年度当初予算について (4) 会員規程の一部改正について (5) 経理規程の一部改正について (6) 役員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について (7) 社会福祉振興基金設置要綱の一部改正について (8) 社会福祉振興基金運営委員会設置要綱の制定について (9) 職員就業規程の一部改正について (10) 給与規程の一部改正について (11) 職員の初任給、昇格等の基準に関する規程の一部改正について (12) 職員旅費規程の一部改正について (13) 評議員の選任について (14) 監事の辞任について (15) 理事の辞任について (16) 鹿沼市千寿荘施設長の選任について (17) 鹿沼市やまびこ荘施設長の選任について (18) 鹿沼市高齢者福祉センター施設長の選任について (19) 理事の選任について

②監事監査

実施日	監査人	内 容
5月17日	廣瀬光行、湯澤英之	平成27年度事業執行状況及び経理状況について

③社会福祉法人指導監査

実施日	監査人	内 容
6月30日	鹿沼市保健福祉部厚生課	法人の組織運営、管理、事業の実施状況について

④社会福祉業務指導監査

実施日	監査人	内 容
6月30日	栃木県保健福祉部保健福祉課	千寿荘、やまびこ荘、実地指導による監査。

⑤内部監査の実施

実施日	監査人	内 容
1月25日	柴田貴史	事務局の帳簿等各種の管理について
1月27日	鈴木久美子	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
1月30日	松本和明、鈴木久美子	千寿荘の帳簿等各種の管理について
2月1日	野口陸、鈴木久美子	やまびこ荘の帳簿等各種の管理について

(2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

() : 前年度比

会費区分	世帯数	口数	計(円)
普通会費(1口 500円)	21,047件 (1%減)	21,256口 (1%減)	10,626,656円 (1%減)
賛助会費(1口 2,000円)	96件 (4%増)	96口 (2%減)	192,000円 (2%減)
特別会費(1口 3,000円)	44件 (29%増)	44口 (22%増)	132,000円 (22%増)
団体会費(1口 5,000円)	72件 (1%増)	72口 (1%増)	360,000円 (1%増)
合計	21,259件 (1%減)	21,468口 (1%減)	11,310,656円 (1%減)

【参考資料 P30】

(3) 事務の効率化

① ボランティア養成講座の一部を関係する団体に委託することで、事務の効率化を図った。

◇ 委託を実施した講座：手話講座、点訳講座

◇ 委託先 手話講座・・・鹿沼地区手話通訳者連絡会、鹿沼市聴覚障害者協会
点訳講座・・・点訳グループ「桐」

② ケールビズやウォームビズ導入によるエアコン等節電、公用車の適正管理により事務費の削減に努めた。

2. 効率的で適正な施設管理・運営

(1) 総合福祉センターの管理運営

使用料の無料化、利用団体による自主管理及び、福祉団体事務室としての利用や継続利用を許可することで、施設の有効活用を図った。また、老朽化により劣化の激しいスレート屋根をカバー工法による修繕工事と大会議室東側・生きがい広場・和室北側の空調設備の改修を行い、利用者の利便性の向上を図った。

なお、28年度は、屋根の改修期間(11月15日～2月28日)の約3か月間は施設貸出を制限したが、例年同程度の利用状況となった。

<会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	41	276	76	710	10	98	127	1,084
中会議室	242	262	240	260	26	282	508	804
大会議室	57	1,197	185	1,287	228	707	470	3,191
和室	0	0	1	2	0	0	1	2
福祉活動の広場	109	1,673	105	1,289	58	846	272	3,808
生きがい広場	128	1,195	97	1,371	9	81	234	2,647
団体事務室 (※下表のとおり)	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	577	4,603	704	4,919	331	2,014	1,612	11,536

【参考資料 P30】

<団体事務室としての利用実績 3団体>

平成29年3月31日現在

利用団体名	利用日数
鹿沼市ボランティア連絡協議会	7日
鹿沼市つくし会	1日
鹿沼市老人クラブ連合会	232日

I. 適切な法人運営と施設管理

<継続利用許可団体 3団体>

平成29年3月31日現在

団体名	代表者
一般社団法人 鹿沼歯科医師会	佐川 徹三
鹿沼市ボランティア連絡協議会	宇賀神 伴吉
鹿沼市老人クラブ連合会	小島 正男

<自主管理登録団体 30団体>

平成29年3月31日現在

団体名	代表者	
北部地区民生委員児童委員協議会	会長	斎藤 陽子
中央地区民生委員児童委員協議会	会長	吉川 洋子
東部地区民生委員児童委員協議会	会長	原 芳子
鹿沼市ボランティア連絡協議会	会長	宇賀神 伴吉
鹿沼市老人クラブ連合会	会長	小島 正男
鹿沼市老人クラブ連合会女性部	代表	鈴木 康子
一般社団法人 鹿沼歯科医師会	会長	佐川 徹三
鹿沼地区手話通訳者連絡会	会長	星野 正人
鹿沼市身体障害者親交福祉会	会長	葉山 廣
鹿沼市手をつなぐ育成会	会長	岩瀬 昭子
鹿沼市つくし会	会長	吉村 アヤ子
鹿沼市聴覚障害者協会	会長	滝沢 克明
鹿沼市聴覚障害者協会デフサロン	役員	滝沢 時江
鹿沼市中途失聴難聴者協会	会長	矢野 美津子
お話ボランティアネットワーク	代表	指田 花子
要約筆記サークルいちご	代表	福田 清美
鹿沼市要約筆記者連絡会	会長	吉川 洋子
朗読グループ「いずみ」	会長	阿部 洋子
デイジー「こだま」	会長	稲葉 幸枝
ボランティアグループ「チームかぬま」	代表	山ノ井 濱市
傾聴ボランティア“ありのまま”グループ	会長	黒川 貢
介護服リフォーム「ミモザ」	代表	須田 陽子
点訳グループ「桐」	会長	須田 陽子
鹿沼精神保健ボランティア「水の輪会」	会長	大坪 朋子
手話サークル「さくら」	会長	山口 美江子
子育て支援クラブ「レインボー」	代表	宮田 里枝
鹿沼市関連法人職員労働組合	委員長	駒場 政貴
鹿沼地区介護支援専門員連絡会	会長	川田 雅一
栃木県オストミー協会	会長	岩田 順三郎
鹿沼民話の会	会長	荻原 順子

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根、歳末助け合い）の配分金を財源として実施した。>

1. 福祉啓発の充実・強化

(1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

<「社協だより」の発行状況>

号 数	発行日	主な掲載内容
第 209 号	6 月 26 日	◇平成 27 年度決算報告 ◇社協会員募集 ◇新任職員紹介 ◇熊本復興支援チャリティーウォーキング報告 ◇鹿沼市民が熊本で活躍！ 他
第 210 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動の実施報告 ◇平成 27 年度事業報告 ◇鹿沼市社会福祉協議会会費報告 ◇仕事や生活の悩みは『のぞみ』に相談 ◇平成 27 年度学校助成配分金を交付 他
第 211 号	11 月 24 日	◇平成 28 年度福祉標語・ポスター審査結果発表 ◇9 地区社協活動報告 ◇ようこそ飯館村の皆さま！ ◇食べ物の寄附お待ちしております（フードバンクかぬま） 他
第 212 号	1 月 25 日	◇平成 29 年年始のご挨拶 ◇宇都宮大学と協包括連携協定を締結 ◇認知症カフェ「いちごの花」オープン ◇社協の役員・評議員改選の報告 ◇おたけ DE 12 マーグスマス実施報告 他
第 213 号	3 月 26 日	◇平成 28 年度共同募金運動結果報告 ◇不要入れ歯リサイクルに協力を ◇平成 29 年度ボランティア保険改訂のお知らせ ◇あなたの町の凄い人 ◇「ふれあいフェスタ in かぬま」開催日決定 他

(2) 第 43 回鹿沼市社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが参画し、共々助け合い、支えあう、思いやりのあふれる「福祉のまち鹿沼」の実現を目指し、社会福祉関係者が一堂に会し、鹿沼市社会福祉大会を開催した。

◇開催日：平成 28 年 7 月 9 日

◇会場：鹿沼市民文化センター 大ホール

◇来場者数：600 名

◇共 催：鹿沼市

第 1 部 式典

①大会会長表彰受賞者（合計 12 名）

・社会福祉功労者・団体 3 名

・自立更生者 3 名

・長期介護者 6 名

②大会会長感謝状受賞者（合計 66 名）

・社会福祉推進者 65 名

・善行協助者・団体 1 名

・篤行者団体 なし

第 2 部 佐藤ひらり トーク&ライブ

【参考資料 P30】

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

多年にわたって社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、社会福祉のさらなる発展を期して、栃木県民福祉のつどいが開催され、本市の功労者が表彰された。

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 平成 28 年 8 月 26 日 (金)

会 場 栃木県総合文化センター メインホール

①栃木県知事表彰受賞者

・民生委員・児童委員	2 名
・老人クラブ又は老人クラブ活動功労者	1 団体・1 名
・社会福祉施設・団体又はその従事者	4 名
・国民健康保険事業功労者	1 名

②栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者

・民生委員・児童委員功労者	2 名
・社会福祉施設・団体関係功労者	40 名

③栃木県共同募金会会長表彰受賞者

・共同募金功労者	62 名
----------	------

【参考資料 P31】

(4) 米寿記念品の贈呈

満 88 歳 (昭和 3 年 4 月 2 日～昭和 4 年 4 月 1 日の生まれ) を迎られた高齢者に、平成 28 年 7 月 9 日に開催された第 43 回鹿沼市社会福祉大会の第 1 部式典において記念品を贈呈し、米寿を祝った。

◇贈呈者数：588 名 (男 199 名・女 389 名)

(5) 啓発物品の配布等

①交通安全「鈴付きメタル」の配布

「交通安全鈴付きメタル」を市内の児童福祉施設に配布し、子供たちの福祉の心の育成と交通安全の周知に努めた。

◇配布数 3,130 個 (28 施設)

②交通安全「黄色い帽子」の配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、交通安全として黄色い帽子を配布した。黄色い帽子は、登下校のサポートをするスクールガードリーダーの皆さんからも、好評である。

◇配布数：815 個

③サンタクロース訪問事業

サンタクロースが在宅重度知的障害児・者の家を訪問して、クリスマスケーキをプレゼントすることによりふれあいや地域交流を促進した。

◇配布数 52 個

◇協 力 鹿沼中央ロータリークラブ・鹿沼あわのロータリークラブ・鹿沼市ボランティア連絡協議会

2. 関連団体等の育成と連携

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある活動を支援し、自主的な団体活動を促進した。

<支援実績>

(単位:円)

区 分	支援団体数	金額
老人福祉団体支援	3 団体	120,000 円
障害児・者福祉団体支援	9 団体	370,000 円
児童・青少年福祉団体支援	31 団体	860,000 円
母子・父子福祉団体支援	1 団体	50,000 円
ボランティア団体支援	1 団体	200,000 円
その他の福祉団体	1 団体	50,000 円
合 計	46 団体	1,650,000 円

(2) 民生委員児童委員・福祉事務所等との連携

地域の生活実態と市民意識を把握するため、歳末たすけあい運動において民生委員児童委員協議会連合会・福祉事務所等との連携を図り各種の事業を展開した。

<歳末たすけあい運動における調査・支援実績>

(単位:円)

援助対象	援助内容	対象数	単価	金 額
①支援を必要とする世帯	援助金 (世帯主分)	202	5,000	1,010,000 円
	援助金 (世帯主以外)	451	2,000	902,000 円
	援助金 (小中学校進学児童)	23	5,000	115,000 円
②ねたきり高齢者介護者	援助金	5	5,000	25,000 円
③認知性高齢者介護者	援助金	9	5,000	45,000 円
④ひとり暮らし高齢者	援助金	104	5,000	520,000 円
⑤市内福祉施設通所者	援助金	172	3,500	602,000 円
⑥在宅重度知的障害児・者 (サンタクロース訪問事業)	クリスマスケーキ	52	3,200	166,400 円
⑦心身障害児通園ホーム通所者	おもちゃ券	112	2,000	224,000 円
合 計		1,130		3,609,400 円

※①～⑤までは、援助金を商品券（鹿沼商工会議所・栗野商工会）に替えて配布。商品券については、一部割引を受けて購入しているので、配布額と購入に係る支出額は異なる。

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付実績

資金種類	相談 件数	借入申請		貸付決定		貸付否決		
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	
総合支援資金	生活支援費	5	1	600,000	1	528,000	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	1	0	0	0	0	0	0
	緊急小口資金	7	2	200,000	1	100,000	1	100,000
教育支援資金	教育支援費	3	1	1,260,000	1	1,260,000	0	0
	就学支度費	1	1	355,000	1	355,000	0	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		1	1	100,000	1	100,000	0	0
合計		19	6	2,515,000	5	2,343,000	1	100,000

(2) 社会福祉金庫貸付実績

貸付件数	貸付金額 (円)
53	1,216,000 円

(3) 災害等見舞金支給実績

区分	件数	単価 (円)	金額 (円)
風水害 (半壊)	0	5,000	0
風水害 (流出)	0	10,000	0
風水害 (床上浸水)	0	5,000	0
風水害 (弔慰金)	0	10,000	0
火災 (半焼)	0	10,000	0
火災 (全焼)	5	20,000	100,000
火災 (半壊)	0	5,000	0
火災 (全壊)	0	10,000	0
火災 (弔慰金)	1	10,000	10,000
住所不定者 (旅費)	4	500	2,000
合計	10	—	112,000

(4) フードバンクによる支援

(特活) とちぎボランティアネットワークの協力を得て、生活困窮世帯に対して食糧支援を行う「フードバンク」事業を行った。

食品の寄贈 470件

食品の配布先 436件

(5) 成年後見制度普及啓発等事業

判断能力が、不十分で意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度における法人後見事業（鹿沼市社会福祉協議会が成年後見人等を受任すること）を実施した。また、一般市民向けの成年後見制度普及啓発講座を実施した。

○法人後見事業受任件数

類型		受任件数
内訳	後見	8件
	保佐	2件
	補助	1件
合計		11件

○成年後見制度普及啓発講座

とき 平成29年2月24日（金）
 ところ 鹿沼市総合福祉センター 2階大会議室
 参加者 8名

(6) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 平成29年3月31日現在

電話相談	2,149件
来所相談	172件
訪問相談	1件
合計	2,322件

<契約実績> 平成29年3月31日現在

H27年度契約総数	H28年度新規契約数	H28年度解約数	現契約数
70件	21件	8件	83件

(7) コーヒーサロン

ボランティアの育成と市民活動促進を図ることを目的にコーヒーサロンを実施した。

日時：平成28年2月16日（木）午後6時30分

場所：総合福祉センター1Fロビー

講師：断酒ホトトギス会員

テーマ：「アルコール依存について」

参加者：13名

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(8) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員3名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や学習支援も合わせて行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。

<相談対応実績> 平成29年3月31日現在
相談件数：208件（うち就労者数：41名）

相 談 内 容	件 数
収入・生活費について	87件
仕事探し・就職について	24件
住まいについて	19件
病気や健康、障がいについて	20件
家族関係・人間関係について	6件
家賃やローンの支払いについて	3件
税金や公共料金の支払いについて	3件
ひきこもり・不登校	1件
債務について	7件
子育て・介護について	12件
DV・虐待について	1件
食べるものがない	1件
その他	24件
合 計	208件

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに地区社協間のネットワークを促進することで、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

＜※当施策は主に会費を財源として実施した＞

1. 地区社協の活動支援と連携促進

(1) 第二期地域福祉活動計画の推進

平成 24 年度に策定した第二期鹿沼市地域福祉活動計画（計画年度 25～29 年度）に基づき、市内 17 地区の地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

＜補助金交付実績＞

地区社協名	主な事業内容	補助金額
板荷地区コミュニティ推進協議会	ボランティア活動推進事業	100,000 円
東大芦地区コミュニティ推進協議会	見守り事業	107,000 円
西大芦地区福祉活動推進協議会	青少年・子育て支援事業	130,000 円
粕尾地区福祉活動推進協議会	介護予防事業	150,000 円
北犬飼地区福祉活動推進協議会	居場所づくり事業	44,960 円
中央地区福祉活動推進協議会	災害時要援護者対応事業	100,000 円
南摩地区福祉活動推進協議会	①地域活動に参加できる環境づくり ②健康づくり事業 ③なんまサロンの実施	①40,000 円 ②20,000 円 ③15,000 円
永野地区福祉活動推進協議会	高齢者サロン事業	90,000 円
東部地区福祉活動推進協議会	緊急・災害時の助け合いの仕組み作り	200,880 円
合 計		997,840 円

(2) 地域の主体的な活動促進（ふれあいと創造・サービス事業）

市内の 17 地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会を対象に、助成金を交付し、それぞれの地区社協活動を支援し、地域の特性を生かした主体的な活動を促進した。

＜地区社協への委託実績＞

地区社協名	主な事業内容	助成金額
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇北小学校交流会	1,072,600 円
中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業 ◇青少年健全育成	1,282,850 円
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業 ◇環境美化運動	1,566,800 円

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世代交流事業 ◇ふれあい祭り	1,554,800 円
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇ふれあいフェスタ ◇ふれあいウォークラリー事業	508,800 円
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,369,300 円
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	369,900 円
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	305,500 円
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇高齢者招待事業	404,100 円
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇満 88 歳祝い贈呈 ◇そば打ち教室	780,800 円
東部台地区福祉活動推進協議会	◇健康スポーツ大会 ◇敬老会	1,553,100 円
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	498,700 円
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇研修会	662,700 円
粟野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇ふれあい福祉まつり	570,700 円
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあい福祉まつり	384,000 円
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇ふれあい福祉まつり	338,550 円
清洲地区福祉活動推進協議会	◇年越しそば配布 ◇ふれあい福祉まつり	403,800 円
合 計		13,627,000 円

※「給食サービス」は全地区で実施

(3) 地区社協間の連携

17 地区社協合同連絡会議を開催し、地区社協間の連絡調整や情報交換などを行った。

◇平成 28 年 6 月 22 日 会長・事務担当合同会議

2. 安心生活創造事業の受託

鹿沼市より、支援を必要とする一人ひとりが、安心して暮らせる地域社会づくりを目的に実施している安心生活創造事業のコーディネーター事業と研修事業を受託した。また、県外より視察を受け入れ、事業概要とその成果をアピールした。

- ① 平成 28 年 11 月 29 日 (火) 栃木県小山市社会福祉協議会
- ② 平成 29 年 3 月 1 日 (水) 栃木県佐野市社会福祉協議会

IV. ふれあいのまちづくり

各種イベントやボランティア講座の開催などをおし、市民相互の助け合いを促進するとともに、人と人との交流の輪を広げるなどした。

1. ボランティアの育成

(1) ボランティア団体等の支援とネットワークづくり

「第15回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援

一人ひとりが力を合わせて行う手作りの祭典「ふれあいフェスタ in かぬま」の開催を支援し、福祉の心の育成と人々のふれあいの輪を広げた。

◇開催日：平成28年4月24日（日）

◇会場：市民情報センター1階及び駐車場

◇実施主体：第15回ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会

◇来場者数：1,000人

(2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象とし、幅広いテーマと具体的な体験学習をおしてボランティア育成に努めた。

傾聴ボランティア養成講座

テーマと講師	日時	参加人数等
現代のニーズ「傾聴とは敬聴」 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま”代表 黒川 貢	11/4 (13:30～14:00) 会場：総合福祉センター	112名 (4回合計)
認知症と傾聴 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま”代表 黒川 貢	11/10 (13:30～14:00) 会場：総合福祉センター	
傾聴のスキル（技能）① 講師：話の聞き方（傾聴）教室 傾聴ハピネス 代表 渡邊 純子	11/17 (13:30～14:00) 会場：総合福祉センター	
傾聴のスキル（技能）② 講師：話の聞き方（傾聴）教室 傾聴ハピネス 代表 渡邊 純子	11/24 (13:30～14:30) 会場：鹿沼市民情報センター	

講座名	回数	受講者数		備考
		延べ人数		
手話講座 (初級)	夜の部 (4/25～)	10回	21名	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会
	昼の部 (9/2～)	10回	6名	
点訳講座 (初級)	昼の部 (6/1～)	10回	3名	講師：点訳グループ「桐」
			29名	
小学生ミニ福祉講座	2回		46名	盲導犬について講話、アイマスク体験
中高生ボランティアスクール	2回		12名	視覚障害者の方の日常生活について講話 サウンドテーブルテニス体験 盲導犬について講話、アイマスク体験
合計 (4講座)	34回		88名	
			243名	

IV. ふれあいのまちづくり

②学校での体験学習開催

小中学校からの依頼に応じ、職員が講師となり校内で体験学習を開催した。

日時	学校名	内容	参加者数
6月17日	南押原小学校	車いす・アイマスク・ 車イスバスケット体験、講話 「障がい者について」	80名
7月14日	中央小学校	〃	116名
10月20日	南押原中学校	講話「高齢者について」	90名
11月15日	南摩小学校	車いす・アイマスク・ 車イスバスケット体験、講話 「障がい者について」	38名

③学校での体験学習支援

小中学校、高校のボランティア学習に講師派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	22校（103回）	25校（44回）
中学校	2校（19回）	2校（13回）
高等学校	2校（8回）	0校（0回）
合計	26校（130回）	27校（57回）

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

(3) ボランティア団体等への支援

①ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等18団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

団体名	主な活動内容	交付額
鹿沼精神保健ボランティア「水の輪会」	ボランティア活動・養成講座、絵画展・講習会	30,000円
鹿沼地区手話通訳者連絡会	レベルアップ講座	100,000円
お話ボランティアネットワークかぬま	会員のスキルアップ勉強会及び研修会	50,000円
介護服リフォーム“ミモザ”	イベント等でのファッションショー	45,000円
点訳グループ「桐」	研修会、視覚障がい者との交流会	100,000円
ボランティアグループ「あった会」	ボランティア活動及び交流協働活動	30,000円
ボランティアふれあい	高齢者生きがい活動（サロン・友愛訪問等）	100,000円
要約筆記サークルいちご	スキルアップ研修・学習会、聴覚障がい者交流会	100,000円
朗読グループいずみ	ボランティア養成講座及びスキルアップ研修	80,000円

ボランティアグループ春風	高齢者福祉施設への訪問活動	30,000円
フラダンス「とりあえず」	高齢者福祉施設への慰問活動	50,000円
栃木県シルバー大学校中央同窓会 鹿沼支部	ボランティア活動	35,000円
たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	介護施設へのボランティア活動（踊り・健康体操）	50,000円
子育て支援クラブレインボー	子育てサロン・親子講座・地域イベントの参加	100,000円
災害ボランティア「チームかぬま」	被災地支援活動	100,000円
デイジーこだま	視覚障がい者を対象とした「広報かぬま」のデイジー版作成	30,000円
鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴者・難聴者の手話講習会	50,000円
鹿沼そば商組合	施設訪問活動（千寿荘・やまびこ荘）	88,000円
合 計		1,168,000円

②学校助成金配分金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、学校助成金配分金を12校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額
1	鹿沼市立中央小学校	地域・保護者との交流事業	59,000円
2	鹿沼市立西小学校	高齢者との交流活動、福祉体験学習	45,000円
3	鹿沼市立菊沢西小学校	幼少者・高齢者・障がい者との交流事業	32,000円
4	鹿沼市立石川小学校	高齢者との交流事業、地域交流事業	42,000円
5	鹿沼市立久我小学校	高齢者・障がい者交流事業、福祉体験学習	27,000円
6	鹿沼市立楡木小学校	福祉体験学習	34,000円
7	鹿沼市立みなみ小学校	地域・高齢者・父母との交流事業	44,000円
8	鹿沼市立永野小学校	地域・高齢者との交流事業	28,000円
9	鹿沼市立上粕尾小学校	福祉体験学習	25,000円
10	鹿沼市立西中学校	地域・障がい者・幼少者との交流活動	64,000円
11	鹿沼市立北押原中学校	地域ボランティア活動	57,000円
12	鹿沼市立南押原中学校	地域ボランティア活動	35,000円
	合 計		492,000円

IV. ふれあいのまちづくり

(4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

<機材別貸出実績>

機材名	貸出回数	機材名	貸出回数
車椅子	172回	ドラムコード	4回
高齢者疑似体験セット	11回	ガソリン携行缶	0回
アイマスク	7回	クーラーボックス	17回
白杖	10回	テント	12回
貸出用パソコン	2回	タープテント	0回
スクリーン	17回	表彰盆	2回
プロジェクター	18回	作業用具	1回
OHC・OHP	0回	ウレタン製組立マット	1回
プレックストーク・プレックスコピー	0回	旗用ポール&スタンド	1回
デイジー用変換機	0回	手話・点字パネル・点字盤	1回
デイジー用マイク	0回	ベンチ	2回
デイジー用マイクスタンド	0回	パイプ椅子	4回
デイジー用HD	0回	机	2回
カセットテープレコーダー	0回	カラーコーン	1回
カセット用高速ダビング機	0回	コンプレッサー	0回
デジタルオーディオプロセッサ	0回	エアガンの口	0回
展示用パネル一式	2回	拡声機・ワイヤレスマイク	2回
ボランティア号	32回	ゲートボールセット	2回
着ぐるみ	10回	写真パネル	2回
綿菓子機	41回	透明ポリタンク	2回
ポップコーン機	31回	教材DVD	1回
かき氷機	35回	脚立	0回
焼きいも機	2回	演台	1回
うす・きね	7回	募金箱	1回
水槽	9回	胸章	1回
発電機	5回		
		合計	471回

(5) 善意銀行の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、預託いただいた金品の払出しにより、団体等の活動基盤を強化した。

<預託金品取扱実績>

単位：件、円

払出し先	27年度繰越金	28年度預託		28年度払出		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指定なし	3,061,562	44	1,144,936	30	1,660,000	2,546,498
社会福祉団体	78,514	9	415,474	9	493,988	0
社会福祉施設	0	1	30,000	1	30,000	0
被災者支援	0	0	0	0	0	0
預金利息	0	2	34	2	34	0
合計	3,140,076	56	1,590,444	42	2,184,022	2,546,498
物 品	男性用下着、ポータブルトイレ（新品）、タオル、車イス4台（普通3台、リクライニング1台）、タオル192枚、リハビリシューズ1足、トイレトーパー（12ロール）、お菓子25袋、ジュース1ケース（30本）		児童養護施設ネバーランド、無量荘、東京愛隣会、千寿荘 やまびこ荘、鹿沼市社会福祉協議会、社協デイサービス、社協介護サービス、			

2. ふれあいの心の育成

(1) 福祉啓発標語・ポスターの募集

小・中学生を対象に福祉標語及びポスターを募集することにより、子どもたちの福祉への理解啓発を図った。最優秀作品はポスターにして、市内の施設・学校等に配布した。

<標語・ポスターの応募実績>

区 分	福祉標語		福祉ポスター		合 計
小学生の部	22校	2,243点	7校	8点	2,251点
中学生の部	6校	1,630点	5校	12点	1,642点
合 計	28校	3,873点	12校	20点	3,893点

(2) 各種相談・連絡件数

市民が地域で安心して暮らせるように、貸付、あすてらす、成年後見制度等に関する各種相談事業を実施した。

<相談・連絡実績>

単位：件

事業名	社会福祉金庫	生活福祉資金	あすてらす	成年後見制度	合 計
相談延件数	219	528	2,322	438	3,507

V 災害対策事業

各平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨災害での災害ボランティアセンターの運営経験をもとに、再度大規模災害が発生しても対応できるよう、災害ボランティアセンターの検証作業を行い、ボランティア講座なども行った。職員も熊本地震での活動に参加するなどしてスキルアップに努めた。

1. 熊本地震への対応について

平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震において、職員の派遣等各種支援活動を行った。

(1) 職員派遣

日 程	活動場所	活動内容	備 考
5 月 09 日～14 日	西原村	西原村災害 V C 支援	チームかぬまと同行
5 月 15 日～21 日	嘉島町	貸付業務	県社協からの派遣依頼
6 月 04 日～11 日	西原村・益城町	西原村災害 V C 支援等	チームかぬまと同行
6 月 18 日～25 日	西原村	西原村災害 V C 支援	チームかぬまと同行

(2) チャリティイベントの開催

「現地には行けないがなにか自分たちにできることはないか」という市民の気持ちにこたえるため、だれでも参加しやすいチャリティウォーキング大会を行った。

名 称 熊本復興支援チャリティウォーキング
 開催日 平成 28 年 5 月 28 日
 会 場 菊沢コミュニティセンター周辺
 参加者 87 名
 募金額 254,198 円

*この募金と、ふれあいフェスタ当日の募金、ふれあいフェスタ実行委員会からの募金と合わせ、計 500,000 円を熊本地震復興のため浄財とした。
 (西原村災害ボランティアセンター 200,000 円、チームかぬま 200,000 円、とちぎボランティアネットワーク 100,000 円)

2. 災害ボランティア講座の開催

増大する自然災害の発生に備え、災害ボランティア養成講座を開催した。

名 称 防災キャンプ
 開催日 平成 28 年 7 月 16～17 日
 内 容 竹筒を使っての炊飯、防災クイズなど
 会 場 伴工業敷地内（富岡地内）
 参加者 13 名

②災害ボランティア実践講座（入門編）

テーマと講師	日 時	参加人数等
災害ボランティアについての講義 講師：チームかぬま、鹿沼市社会福祉協議会	10/30（13：30～15：30） 会場：総合福祉センター	8名
水害ボランティア編（ロープワーク等） 講師：チームかぬま、鹿沼市社会福祉協議会	11/13（13：30～15：30） 会場：伴工業敷地内等	7名
避難所ボランティア編 講師：NPO法人「とちぎボランティアネットワーク」	11/19（13：30～16：30） 会場：菊沢コミュニティセンター	11名

3. 視察の受入について

鹿沼市災害ボランティアセンターの対応をテーマに、各地区からの視察を受け入れた。

日 時	団 体 名
9月14日	日本赤十字社福島県支部
11月30日	足利市矢場川地区社会福祉協議会
1月18日	白河市ボランティア連絡協議会
2月16日	足利市毛野地区社会福祉協議会
3月02日	ボランティアセンターはが
3月24日	千代田町社会福祉協議会（群馬県）

4. 講師派遣について

災害をテーマにした講座の講師依頼を受け、職員を講師として派遣した。

日 時	団 体 名	講 座 名	会 場
5月13日	那須烏山市民生委員児童委員協議会	災害時の対応について	那須烏山市保健福祉センター
8月24日	栃木市社会福祉協議会 つが学童クラブ	防災トイレを作ろう！	栃木市社会福祉協議会 都賀支所
10月05日	上三川高校	災害時のトイレについて	鹿沼市総合福祉センター
11月25日	災害ボランティアネットワーク会議	豪雨災害での取り組みについて	とちぎ健康の森
12月01日	清洲第一小学校学年PTA	段ボールトイレのつくり方	清洲第一小学校
2月25日	朝霞市社会福祉協議会（埼玉県）	災害ボランティア講座	朝霞市総合福祉センター

5. 鹿沼市災害ボランティアセンター検証委員会の開催

社協職員を中心に、鹿沼市ボランティア連絡協議会会長、災害ボランティアチームかぬまのメンバーなどにより、災害ボランティアセンターの対応について検証する場を設けた。

オブザーバーには宇都宮大学の教員にも参加いただいた。

V 災害対策事業

(1) 検証委員会の開催

回数	日程	内容
第1回	1月08日	災害ボランティアセンター 各班の活動の振り返りについて
第2回	1月25日	〃
第3回	2月18日	〃
第4回	3月16日	〃
第5回	4月13日	〃
第6回	5月31日	〃
第7回	8月04日	活動計画案の作成について
第8回	9月20日	〃
第9回	3月15日	活動計画案の内容確認について

(2) ワーキングチーム会議の開催

検証委員会での意見を基に、活動計画の内容について検討する小委員会を設けた。

回数	日程	内容
第1回	6月24日	運営体制について
第2回	7月17日	運営体制について・各班の活動について
第3回	7月29日	〃
第4回	8月19日	活動計画の構成について
第5回	9月01日	〃

(3) 様式見直しワーキングチーム会議の開催

災害VCで使用する受付簿などの様式について、検討を行った。

回数	日程	内容
第1回	10月11日	受付簿について
第2回	10月17日	受付簿・ニーズ票について
第3回	10月25日	ニーズ票について
第4回	11月14日	〃

6. 研修等への参加

職員の資質向上と参加によるネットワークの構築を目的として、各種研修等に参加した。

①災害ボランティアセンター運営者研修（主催 全国社会福祉協議会）

参加日 平成28年12月17～18日 長野県

参加日 平成29年11月30～31日 岐阜県

②とちぎ災害ボランティアセンター実践プロジェクト（主催 栃木県社会福祉協議会）

参加日 5月10日、7月27日、10月20日、1月13日、3月27日

7. 他機関との連携について

①包括連携協定締結

平成 28 年 11 月 1 日、福祉に関わる人材育成や災害時におけるボランティア活動などで、包括的に連携できることを目的に、国立大学法人宇都宮大学との間に包括連携協定を締結した。

②研修会

宇都宮大学が主催する研修会の企画と実施にあたり協力した。

名 称 コミュニティ支援力養成研修

開催日 平成 29 年 2 月 10～11 日

会 場 野外体験センター（板荷）

③鹿沼青年会議所との情報交換会

平成 28 年 9 月 21 日、大雨災害時に協働した鹿沼青年会議所との情報交換会を行い、今後も連携を取り合うことを確認した。

8. 被災地支援のためのワゴン車の貸出し

継続的なボランティア活動のため、ワゴン車を災害ボランティアグループ「チームかぬま」に貸出した。ワゴン車を利用したチームかぬまの活動は下記のとおり。（貸出回数 9 回）

主な活動内容	活 動 場 所
東日本大震災被災地支援	福島県南相馬市(4)
熊本地震被災地支援	熊本県益城町・西原村・嘉島町(4：職員同行)
台風 10 号豪雨被災地支援	岩手県岩泉町(1)

9. その他

○キャンドルナイトの開催

「平成 27 年関東・東北豪雨災害」の発生から 1 年がたち、当時を振り返り今後を考えるイベント「キャンドルナイト」を開催した。

キャンドルナイト～関東東北豪雨から 1 年 その時鹿沼になにが起こったか～

開催日 平成 28 年 9 月 9 日

内 容 ①トークセッション

・当時活動したボランティアなどによるディスカッションの開催

出演者 塚本達也氏（NPO 法人 トチギ環境未来基地）

高山弘毅氏（前橋市社会福祉協議会）

海沼陽一氏（災害ボランティア）

②災害ボランティア写真展

③キャンドル点灯

会 場 鹿沼市総合福祉センター

参加者 約 100 人

VI. 介護と自立支援

介護保険指定事業者として常に質の高い在宅サービスの提供に心がけ、各種介護保険事業を推進した。また、介護予防・自立支援事業に取り組み、ねたきりや要介護状態への進行を防止するなど高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を支援した。さらに障がい者のための居宅介護・訪問入浴事業を推進した。

1. 介護保険事業の推進

(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに地域包括支援センターから介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会事務局やとちぎケアマネージャー協会部の会員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ数）
居宅介護支援	914 回
介護予防支援	107 回
合 計	1,021 回

【参考資料 P34】

<介護区分別実利用者数>

平成 29 年 3 月 31 日現在

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
1 人	4 人	10 人	20 人	30 人	11 人	9 人	7 人	92 人

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

幅広い分野に渡る生活支援と土・日・祝日や時間外の対応など、利用者のニーズに即したサービスを提供した。また、利用者の生活意欲の向上と残存機能を生かしたサービス提供など、予防介護に努めた。さらに、サービス担当者会議等とおし、関係機関との連携とより質の高いサービスの研鑽・提供に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ数）
介護支援	3,612 回
介護予防支援	766 回
合 計	4,378 回

【参考資料 P34】

<介護区分別実利用者数>

平成 29 年 3 月 31 日現在

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0 人	8 人	7 人	6 人	6 人	0 人	3 人	1 人	16 人

(3) 通所介護事業（デイサービス）

月例お誕生会、季節行事、ボランティアの協力による催し物など、デイサービスセンターで日中楽しく過ごしていただき、少しでも自宅で自立した生活ができるように、ご家族の負担を軽減できるようなサービスの提供を行うとともに、利用者の拡大に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ数)
介護支援	3,035回
介護予防支援	354回
合計	3,389回

【参考資料 P34】

◇年間実施日数..... 248日

◇1日あたりの平均利用者... 13.6人

◇協力ボランティア数..... 団体数：8団体、個人数：1人（年間実施回数 70回）

<介護区分別実利用者数>

平成29年3月31日現在

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	3人	12人	10人	6人	3人	3人	37人

(4) 訪問入浴介護事業

移動入浴車による訪問入浴サービスの提供により、要介護者を抱える家族の負担軽減を図った。

また、競合する事業所が増加する中、サービスに対する満足度を高めつつ利用者の固定化を進めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ数)
介護支援	462回
介護予防支援	0回
合計	462回

【参考資料 P34】

<介護区分別実利用者数>

平成29年3月31日現在

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	0人	1人	3人	3人	9人	6人	22人

2. 在宅介護支援センターの運営

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるような様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

<相談対応実績（延人数）>

平成29年3月31日現在

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
19人	3人	5人	3人	0人	4人	25人	59人

3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密に、生活意欲を引き出し、残存機能を生かし自立した日常生活が営むことができるよう支援をした。

(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障がい者宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や家事援助、生活に関する相談及び助言などを行った。

平成 29 年 3 月 31 日現在

実利用者数		利用回数
居宅介護等	6 人	43 回
同行援護	8 人	19 回

(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

ご本人やご家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談、また障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。さらに鹿沼市自立支援協議会相談支援部会や県西圏域連絡会へ参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。

平成 29 年 3 月 31 日現在

サービス名	実利用数
指定特定相談支援	28 件
指定障害児相談支援	0 件

(3) 訪問入浴サービス事業

地域生活支援事業により移動入浴車で居宅に訪問し、訪問入浴サービスを提供した。

平成 29 年 3 月 31 日現在

実利用者数		利用回数
訪問入浴サービス	3 人	160 回

VII 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動、交流会を充実させ、地域や社会との結びつきを大切にした運営を図った。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、今年度は該当者がなかった。3期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行うことが出来た。

(1) 利用者の状況

- ◇利用者数 43名 平成29年3月31日現在
- ◇年間異動者数 15名 (新規入所3名、退所12名)
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 0名

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	52	50	50	51	50	51	51	49	47	47	45	43
緊急一時避難者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 年間行事実績

月	日	行事内容	参加者数
4月	7日	花見会	全員
	24日	ふれあいフェスタ in かぬま	14名
	27日	地域老人との草餅つき交流会 (花岡町共寿会7名、日吉町寿会30名)	全員
	29日	天理教清掃奉仕活動の受入れ (90名)	
5月	19日	日帰りレクリエーション (日光方面)	5名
	26日	日帰りレクリエーション (宇都宮方面)	5名
	30日	中央小学校4年生訪問・交流 (28名)	
	31日	日帰りレクリエーション (日光方面)	5名
6月	8日	やちよ会奉仕作業 (ゴミ拾い)	10名
	10日	シルバー大学同窓会鹿沼支部訪問・交流 (9名)	
7月	5日	一泊レクリエーション (塩原方面)	6名
	28日	納涼祭 (盆踊り)	全員
8月	4日	鹿沼南高校 家庭クラブ・郷土芸能部訪問・交流 (28名)	
	31日	利用者百歳祝い	全員
9月	21日	敬老式	全員
	25日	シルバー人材センター中央第一地区除草奉仕作業の受入れ (29名)	

	28日	西中学校3年生交流学習受け入れ(16名)	
10月	17日	府中町たつみ会訪問(17名)	
	18日	地域老人との観劇・カラオケによる交流会(花岡町共寿会12名、日吉町寿13名)	
	19日	西中学校3年生交流学習受け入れ(17名)	12名
	21日	そば招待(日晁そば)	
	26日	日吉保育園日本太鼓の訪問・交流(27名)	
	27日	鹿沼そば商組合手打ちそば提供・訪問(5名)	
11月	1日	鍼灸マッサージ訪問(6名)	
	2日	日帰りレクリエーション(日光方面)	5名
	8日	日帰りレクリエーション(日光方面)	5名
	15日	文化祭	全員
	30日	やちよ会道路清掃	10名
12月	5日	富屋特別支援学校鹿沼分校中学部の訪問・交流(22名)	
	15日	クリスマス会・忘年会	全員
1月	11日	新年祝賀会	全員
	12日	利用者百歳祝い	全員
	23日	仁神堂幼稚園年長組の訪問・交流(28名)	
	25日	宮崎会踊り訪問(3名)	
2月	21日	鹿沼市老人クラブ連合会友愛訪問(26名)	
<p>その他の定期開催行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇利用者との話し合いの会、給食委員会、荘外清掃、荘内清掃、避難訓練 ◇健康診断、ラジオ体操、リズム体操、ウォーキング、屋内レクリエーション ◇大正琴、生け花、書道、園芸、手芸、誕生会、外出買物会、カラオケ 			

(3) 地域等との交流

◇市内の幼稚園・保育園から高校まで交流等の受入れを積極的に行った他、一般のボランティア団体等の訪問・交流を図り、地域における利用者との交流や施設との連携及び理解を深めることができた。

VIII 障害者支援施設やまびこ荘の運営

利用者一人ひとりの個性と能力及び高齢化に伴う支援を推進するとともに、利用者が安全に楽しくできるよう余暇支援の充実を図ります。また、心身ともに健康な生活が営めるよう利用者の健康保持、体力増進に努めます。

さらに、公的施設としての役割を認識し事業を展開するとともに、職員の資質の向上及び施設など資源の有効活用を図り、効率的な管理運営に努めます。

(1) 利用者の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

生活介護・施設入所支援	短期入所	生活介護（通所）	地域活動支援センターⅡ
定員 30 名	定員 6 名	定員 10 名	定員 5 名
利用者数 25 名	実利用者数 13 名 (延利用数 816 回)	実利用者数 13 名 (延利用数 972 回)	実利用者数 1 名 (延利用数 210 回)

(2) 年間行事実績

月 日	行事内容	参加者数
4 月 12 日	鹿沼飲食業組合訪問（ラーメン 80 食）	25 名
24 日	「ふれあいフェスタ in かぬま」への参加	7 名
5 月 10 日	シルバー大学校ボランティア訪問 17 名	25 名
30 日	中央小学校 交流訪問学習（生徒 4 年生 26 名・教員 2 名）	24 名
6 月 24 日	保護者合同社会見学（なかがわ水遊園）	49 名（保護者 14 名）
29 日	加蘇中学校 交流訪問学習（生徒 1 年生 7 名・教員 2 名）	24 名
7 月 3 日	天理教清掃奉仕活動の受入れ（55 名）	—
22 日	やまびこ祭り	70 名（保護者 19 名）
9 月 4 日	お囃子演奏会	60 名（保護者 10 名）
6 日	さつき手打ち蕎麦打ち会訪問（そば 60 食）	22 名
8 日	西中学校運動会への参加	5 名
10 日	加蘇中学校運動会への参加	4 名
17 日	中央小学校運動会への参加	5 名
17 日	久我小学校運動会への参加	4 名
21 日	中学校生徒交流訪問学習（西中 3 年生 13 名）1 回目	24 名

10月	9日	若鮎会ボランティア訪問 (カラオケ)	24名
	19日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生 14名) 2回目	24名
	21日	日冕そば招待事業	29名
	27日	鹿沼そば商組合訪問(そば80食、うどん20食)	29名
	29日	加蘇中学校祭への参加	4名
11月 月	23日	つくし会ふれあい交流会参加 (りんご狩り)	3名
12月	4日	天理教清掃奉仕活動の受入れ (47名)	—
	22日	西中学校餅つき大会への参加	4名
平成 29年			
1月	19日	新年祝賀会	23名
	25日	特別支援学級合同発表会	4名
3月	4日	つくし会ふれあい交流会参加 (ボーリング)	3名
	31日	職員お別れ会	23名
例月ボランティア		東芝ライテックユニオン(誕生者へカードや花プレゼント)、ボランティアいずみ(紙芝居ほか) 通所事業の見守り・傾聴ボランティア 各種団体余暇ボランティア(絵手紙、手芸、フラダンス、マジックショー、ほか)	
定期行事		◇地域奉仕活動(空き缶ごみ拾い)年4回実施 ◇嘱託医往診、理髪、体重・血圧測定 ◇誕生会、お楽しみ会 ◇週間行事打合せ、支援会議、献立会議、一斉清掃、避難訓練	

(3) 保護者との連携

◇保護者会(総会、役員会、懇談会)を通し、保護者との連携と理解を深めた。

IX. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。

なお、高齢者の安全安心を図るため緊急時の連絡先の確認を実施した。

(1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
307日	88,730人(1日平均289人)	17,844,950円

※ 利用者数の内訳

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
62,810人	4,681人	7,772人	9,440人	4,027人	88,730人

【参考資料 P35】

(2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

< 教養講座の実施実績 >

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
ウォーキング	19回	236人
いきいき体操	19回	354人
らくらくヨガ	20回	326人
切り絵に挑戦	18回	382人
合計	76回	1,298人

(3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
自主クラブの利用	158回	2,617人
各種団体の利用	5回	210人
機能回復訓練の実施	46回	549人
合計	209回	3,376人

(4) 利便性の確保

- ・売店のアンケートを実施し、新しいメニューを追加しサービス向上を図った。
- ・新型バスの導入により利用者の利便性の向上を行った。
- ・鹿沼市と協力しながら各種修繕を積極的に行い、施設の安全、安心、安定を図った。

参考資料

1. 会費（年度別状況）
 2. 総合福祉センターの利用状況
 3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県大会）
 4. 関連ボランティア
 5. 共同募金の状況
 6. シニアライフみまもり隊月別活動状況
 7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
 8. 障がいサービスの提供状況
 9. 高齢者福祉センター利用者状況
-

1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)
普通会費 1口 500 円	21,874	11,020,561	22,214	11,199,243	21,697	10,930,010	21,182	10,685,565	21,047	10,626,656
賛助会費 1口 2,000 円	123	248,000	99	198,000	104	208,000	92	194,000	96	192,000
特別会費 1口 3,000 円	54	177,000	56	174,000	43	141,000	34	108,000	44	132,000
団体会費 1口 5,000 円	(70)	350,000	(72)	365,000	(72)	360,000	(71)	355,000	(72)	360,000
合 計	22,051	11,795,561	22,369	11,936,243	21,844	11,639,010	21,379	11,342,565	21,259	11,310,656

※ () 内の数字は、団体会費のため世帯数合計には含めない

2. 総合福祉センターの利用状況

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
延べ件数 (件)	1,476	1,480	1,476	1,111	1,612
延べ人数 (人)	14,359	14,096	15,072	10,511	11,536

3. 社会福祉大会表彰受賞者

(順不同・敬称略)

(1) 第 4 3 回鹿沼市社会福祉大会

①大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名		
社会福祉功労者・団体	大 出 千 工	高 橋 充	徳 原 礼 子
自立更生者	桑 川 眞 理 子	近 野 佳 子	倉 澤 房 子
長期介護者	大 河 原 隆 嗣	大 貫 清 子	川 田 早 苗
	岸 和 子	島 村 キ ミ 子	高 野 敏 夫

②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名 (団 体 名)		
社会福祉推進者	村 山 好 正	芳 田 利 雄	手 塚 勝 敏
	村 山 得 治	佐 藤 廣	星 野 晴 男
	大 島 仲 雄	高 橋 一 元	斎 藤 陽 子
	奥 山 楨 子	松 本 佳 子	文 挟 寛
	吉 田 實	赤 山 和 夫	塩 田 武 志
	上 澤 順 子	津 吹 ケ イ 子	今 井 寿 子
	石 川 忠 正	藤 沼 富 美	竹 澤 雄 子
	紺 野 勝 寛	大 橋 光 江	大 門 清
	橋 本 政 雄	渡 邊 武 夫	大 貫 良 明
	石 川 ケ イ	嶋 田 修 一	塚 原 保 之
	木 村 恵 美 子	仲 田 久 子	石 岡 才 子
	高 山 恵 美 子	石 原 真 一	樫 淵 孝 子
	石 川 節 子	小 林 一 平	野 中 茂
	高 野 徹 雄	酒 井 昌 行	福 島 弘 子

	鈴木 茂	若林 政夫	秋澤 進
	善林 光男	坂口 享子	松嶋 晴彦
	橋本 弘子	峯岸 裕子	齋藤 弘子
	相馬 陽子	中荒井 弘美	田崎 照子
	新堀 佳以	大出 弘子	岩出 勝美
	福田 輝夫	小杉 ヨシ子	池澤 友子
	古橋 佑介	大森 光枝	遠藤 輝夫
	佐藤 美知子	新田 守	
善行協助者・団体	青木 トキ子		

(2) 第22回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員	山中 悦子	中山 幸子	
老人クラブ又は老人クラブ活動功労者	酒野谷 長寿会	鈴木 康子	
社会福祉施設・団体又はその従事者	大山 修治	篠塚 由江	大柿 好子
	佐藤 敦子		
国民健康保険事業功労者	川島 孝子		

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員功労者	浅見 京子	斉藤 敏子	
社会福祉施設・団体関係功労者	若林 芳子	伊谷野 純也	阿部 舞子
	野澤 米次	佐藤 歩	手塚 こず恵
	野澤 意味子	渡辺 容枝	見目 雄祐
	鈴木 幸夫	木村 昭雄	江田 政義
	佐伯 全弘	木村 剛考	舟橋 育三
	山口 宏一郎	坪子 廣子	黒崎 和泉
	福田 洋子	齊藤 順子	岡田 富江
	柴 享子	津 寿枝	佐藤 浩美
	加藤 文絵	仲田 美輪	早山 祐司
	星野 正人	金子 美智子	長谷川 裕美
	桐島 久	鈴木 幸子	倉島 玲子
	富田 和裕	高村 禎子	半田 裕文
	吉田 高士	加藤 亜矢子	星野 優子
荒川 京子			

③ 栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名		
共同募金功労者	村山 好正	芳田 利雄	手塚 勝敏
	丸山 得治	赤嶺 謙二	佐藤 廣
	星野 晴男	大島 仲雄	石塚 武
	佐藤 政江	高橋 一元	斎藤 陽子
	奥山 楨子	松本 佳子	文狭 寛
	吉田 實	赤山 和夫	塩田 武志
	上澤 順子	津吹 ケイ子	今井 寿子

石川 忠正	藤 沼 富美	竹 澤 雄子
紺野 勝寛	大 橋 光江	大 門 清
橋本 政雄	渡 邊 武夫	大 貫 良明
石川 ケイ	嶋 田 修一	塚 原 保之
木村 恵美子	仲 田 久子	石 岡 才子
高山 恵美子	石 原 真一	石 川 節子
小林 一平	野 中 茂	高 野 徹雄
酒井 昌行	鈴 木 茂	若 林 政夫
秋澤 進	善 林 光男	坂 口 享子
松嶋 晴彦	橋 本 博子	峯 岸 裕子
齋 藤 弘子	相 馬 陽子	中 荒 井 弘美
田 崎 照子	新 堀 佳以	大 出 弘子
岩 出 勝美	福 田 輝夫	池 澤 友子
古 橋 佑介	遠 藤 輝夫	

④栃木県ひとり親家庭福祉連合会会長表彰

区 分	氏 名		
母子寡婦福祉関係功労者	大 出 弘子		

⑤栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰

区 分	氏 名		
自立更生者	小 曾 戸 濟		

⑥栃木県心身障害児者親の会連合会会長表彰

区 分	氏 名		
会長表彰	大 嶋 キクエ	齋 藤 カイ子	

4. 関連ボランティア

(1) 関連ボランティア数 団体数 49 団体

No.	名 称	主な活動内容	会員数
1	まぎあぐらす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演	6名
2	ボランティア「さくら」	手話学習・聴覚障害者との交流	15名
3	水の輪会	精神保健ボランティア	8名
4	ボランティア MOMI	独居老人との交流・使用済切手収集	21名
5	なんまサロン運営連絡会	(昼間含)独居老人の支援	30名
6	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流	25名
7	友愛訪問ボランティア	独居の高齢者への友愛訪問	34名
10	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加	19名
11	高校生ボランティアサークル「はんず」	福祉行事への協力・ボランティア学習会	6名
12	鹿沼そば商組合	地域福祉活動	25名
13	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手	28名
14	介護服リフォーム「ミモザ」	高齢者・障害者への服飾支援	6名
15	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流	24名
16	ボランティアグループ「あつた会」	高齢者住居周りの修繕活動	18名
17	ボランティア「ふれあい」	特別養護老人ホーム奉仕	42名
18	要約筆記サークル「いちご」	要約筆記ボランティア活動	28名
19	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流	16名

参考資料

20	和良子の会	伝承活動	3名
21	おはなし会“ノア”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作	8名
22	車椅子レクダンス普及会	車椅子ダンス普及活動	59名
23	栃木県明るい社会づくり運動上都賀協議会	社会奉仕活動	3,000名
24	ボーイスカウト鹿沼第1団	福祉施設慰問、社会奉仕活動	100名
25	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動	80名
26	立正校成会鹿沼教会	社会奉仕活動	3,000名
27	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動	32名
28	快気堂	福祉施設慰問、社会奉仕活動	1名
29	栃木シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動	90名
30	ほのぼの	針灸マッサージによる社会奉仕活動	5名
31	傾聴ボランティア“ありのまま”	傾聴ボランティア	91名
32	たから船	玉すだれ・夫婦安木節・マジック	7名
33	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ	24名
34	鹿沼市中途失聴難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動	18名
35	西鹿沼町自治会福祉部シルバーサロン	地域高齢者等への活動	12名
36	宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問	6名
37	東武日光・鬼怒川沿線活性化連絡協議会	東武沿線活性化、地域おこし活動	5名
38	鹿沼市仲人会	結婚相談	21名
39	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー制作)	10名
40	竹の子ボランティア	日本舞踊、ダンス、手品、カラオケ等	5名
41	宇都宮若草支部	車イスレクダンスの普及・施設訪問	30名
42	にはんご Friendly Class	外国籍市民の日本語学習等	6名
43	子育て支援サークルレインボー	子育て相談、体操等、絵本の読み聞かせ等	18名
44	プリティワールドボランティアグループ	腹話術、マジック等、オカリナ、ハーモニカ、パントマイム	9名
45	フラダンスとりあえず	フラダンス、コーラス	20名
46	春風	舞踊、唄、三味線	9名
47	チームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動	46名
48	ボランティアみなみ	友愛訪問、傾聴、地区社協へのイベント協力等	50名
49	元気会	高齢者を対象に掃除・洗濯等の有償サービス	20名

5. 共同募金の状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
A募金	5,825,000	5,056,000	5,032,000	4,965,000	4,866,000
B募金	10,891,620	11,724,206	11,580,000	11,376,000	11,135,000
合計	16,716,620	16,780,206	16,612,000	16,341,000	16,001,000

A募金：第1種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を運営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B募金：第2種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

6. シニアライフみまもり隊月別活動状況

	65歳以上(人)	高齢者 ひとりぐらし	シルバー世帯	隊員数	内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
鹿沼市	27,481	2,702	2,569	381	見守り・相談対象世帯	2,715	2,709	2,664	2,679	2,643	2,627	2,622	2,657	2,664	2,711	2,643	2,774	32,108	
					見守り・相談対象者数	3,561	3,516	3,456	3,450	3,404	3,407	3,383	3,447	3,501	3,604	3,542	3,615	41,886	
					見守り・相談延べ回数	4,527	4,471	4,351	4,327	4,315	4,271	4,420	4,320	4,350	4,231	4,114	4,344	52,041	
					内 訳	訪 問	2,710	2,676	2,530	2,544	2,574	2,593	2,629	2,595	2,731	2,686	2,411	2,650	31,329
						電 話	166	149	165	182	173	209	164	164	141	152	200	184	2,049
						その他	1,651	1,646	1,656	1,601	1,568	1,469	1,627	1,561	1,478	1,393	1,503	1,510	18,663
					宅配支援対象世帯数	26	17	29	17	14	17	17	10	24	34	27	19	251	
					宅配支援延べ回数	22	22	26	19	16	20	17	10	39	35	22	4	252	
					その他の支援延べ回数	199	215	175	203	131	140	200	185	241	162	185	141	2,177	

※65歳以上の高齢者数は、市保健福祉部高齢福祉課発行の「平成28年度鹿沼市町別高齢化率一覧表」による。

※ひとりぐらし高齢者数・シルバー世帯数は、平成28年度高齢者状況調査による

※隊員数：平成29年3月31日現在

7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)
ケアプラン作成	介護	109人	768回	76人	846回	106人	914回
	予防	11人	100回	7人	76回	17人	107回
ホームヘルプ	介護	44人	4,270回	21人	4,175回	16人	3,556回
	予防	17人	845回	10人	739回	16人	765回
デイサービス	介護	46人	3,045回	28人	2,753回	43人	3,035回
	予防	8人	390回	5人	308回	5人	354回
訪問入浴	介護	26人	601回	7人	621回	22人	462回
	予防	1人	52回	0人	0回	0人	0回

8. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)
居宅介護等	4人	187回	5人	313回	6人	415回
同行援護	11人	290回	11人	385回	8人	262回
指定特定相談支援	—	—	8人	4回	28人	49回
訪問入浴サービス	3人	77回	2人	124回	3人	160回

鹿沼市高齢者福祉センター

健康で活力ある高齢社会を目指し、高齢者自身が自主性を持って、ひとりひとりが個性を活かしながら生きがいのある日常生活を送ることは、大変重要なことである。高齢者福祉センターでは、利用者同士がお互いを尊重しあいながら、一日を楽しく過ごしている。元氣な高齢者の社会参加と生きがいをいづくりの支援につながるような施設運営を基本としながら、気軽に参加できる講座等の各種事業を実施した。

(単位:人)

区分	有料利用者						無料利用者				合計③ (①+②)	開所日数④	1日平均 利用者数 ③÷④
	60歳以上	60歳以上 (市外)	中学生以上～ 60歳未満	障害者	小学生	小計①	未就学児	減免者	小計②				
4月	5,578	439	631	628	179	7,455	116	61	177	7,632	26	293.5	
5月	5,164	411	860	591	275	7,301	160	192	352	7,653	26	294.3	
6月	5,337	348	565	568	172	6,990	125	218	343	7,333	26	282.0	
7月	5,299	377	763	641	297	7,377	227	218	445	7,822	27	289.7	
8月	4,527	298	1,139	567	486	7,017	248	164	412	7,429	26	285.7	
9月	4,684	364	543	597	139	6,327	130	633	763	7,090	26	272.7	
10月	5,176	396	756	635	230	7,193	141	230	371	7,564	26	290.9	
11月	5,077	401	565	634	118	6,795	79	178	257	7,052	25	282.1	
12月	5,120	393	475	589	81	6,658	58	186	244	6,902	24	287.6	
1月	5,362	416	454	576	66	6,874	45	201	246	7,120	24	296.7	
2月	5,417	391	441	586	46	6,881	38	220	258	7,139	24	297.5	
3月	6,069	447	580	637	102	7,835	72	87	159	7,994	27	296.1	
合計	62,810	4,681	7,772	7,249	2,191	84,703	1,439	2,588	4,027	88,730	307	289.0	
1日平均 利用者数	204.6	15.2	25.3	23.6	7.1	275.9	4.7	8.4	13.1	289.0			
寄与率	70.8%	5.3%	8.8%	8.2%	2.5%	95.5%	1.6%	2.9%	4.5%				